

貸借対照表

(2018年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	千円		千円
流動資産	725,685	流動負債	553,099
現金預金	6,485	支払手形	101,967
売掛金	471,768	買掛金	426,763
商掛金	220	未払金	479
短期貸付金	243,817	未払法人税等	3,600
前払費用	1,481	未払消費税	4,714
その他	1,913	未払費用	3,180
		預り金	983
		賞与引当金	5,110
		役員賞与引当金	6,300
固定資産	15,877		
有形固定資産	12,321	固定負債	13,954
建物	454		
車両運搬具	10,466	退職給付引当金	13,654
工具器具備品	1,399	長期未払金	300
投資その他の資産	3,556		
差入保証金	158	負債合計	567,054
その他	3,398		
		純 資 産 の 部	
		株主資本	174,509
		資本金	40,000
		利益剰余金	134,509
		その他利益剰余金	134,509
		繰越利益剰余金	134,509
		純資産合計	174,509
資産合計	741,563	負債及び純資産合計	741,563

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連 株式会社 …………… 移動平均法による原価法
 会社株式

その他有価証券

時価のあるもの …………… 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直
 入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

時価のないもの …………… 移動平均法による原価法

(2) 貯蔵品 …………… 移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりま
 す。

ただし、車両、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)ならびに平成28年4月
 1日以降に取得した建物附属設備および構築物については、定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(2) 役員賞与引当金

役員の賞与の支払に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基
 づく計上しております。

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一
 定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度より費用処理すること
 としております。

4. その他重要な会計方針に係る事項

(1) 重要なリース取引の処理方法

借手としてのリース及び貸手としてのリースの双方の場合において、リース物件の所有権が借主
 に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係
 る方法に準じた会計処理によっております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 189,024千円

2. 関係会社に対する金銭債権・債務

短期金銭債権 375,454千円

短期金銭債務 1,459千円

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額 2,181円36銭

2. 1株当たり当期純利益 51円32銭

(当期純損益金額)

当期純利益 4,105千円